



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場会社名 丸藤シートパイル株式会社
 コード番号 8046 URL <http://www.mrfj.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 志村 孝一
 (氏名) 浅田 耕一

TEL 03-3639-7641

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	6,249	6.7	19	△91.0	91	△69.1	45	△73.3
24年3月期第1四半期	5,855	11.0	221	—	296	—	170	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 6百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 152百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	1.24	—
24年3月期第1四半期	4.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	38,386	23,096	60.2	634.02
24年3月期	38,930	23,381	60.1	641.84

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 23,096百万円 24年3月期 23,381百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,500	2.3	△370	—	△300	—	△220	—	△6.04
通期	25,800	6.1	580	15.6	710	△10.8	380	△9.4	10.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり予想当期純利益については、平成25年3月期第1四半期期中平均株式36,429,030株により算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	40,000,000 株	24年3月期	40,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	3,571,003 株	24年3月期	3,570,693 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	36,429,030 株	24年3月期1Q	36,436,003 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要等により、持ち直す傾向が一部見られたものの、長引く欧州債務危機、円高の長期化により先行きの不透明感が払拭されない状況が続きました。

当社グループが属する建設業界におきましては、設備投資、住宅建設とも震災の影響により着工・建設に遅延等の動きも見受けられましたが、都心部の再開発など大型プロジェクトが進行しゆるやかな増加傾向に転じました。また、公共投資は依然として低調に推移しているものの、幹線道路整備や災害復旧需要に加えて補正予算の執行が徐々に進み、減少傾向に歯止めがかかりました。

このような環境の下、当社グループは品質とサービスの向上に取り組み、受注の確保に注力してまいりました。仙台工場に続き、名古屋工場も建屋等の改修と加工整備の増強を行い、受注拡大に対応できる体制を整えてまいりました。引き続き他の工場も設備の改修・整備を順次進めてまいります。一方、本格化する被災地の復旧・復興事業に対して岩手営業所の開設とともに、東北支店の体制を整え、地域に密着したきめ細かな営業活動を展開しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は62億49百万円（前年同四半期比6.7%増）、連結営業利益は19百万円（前年同四半期比91.0%減）、連結経常利益は91百万円（前年同四半期比69.1%減）、連結四半期純利益は45百万円（前年同四半期比73.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は383億86百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億43百万円の減少となりました。その主な要因は、建設資材の2億10百万円の増加、現金及び預金が6億45百万円減少、受取手形及び売掛金が1億63百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は152億89百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億58百万円の減少となりました。その主な要因は、未払法人税等が3億38百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は230億96百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億85百万円の減少となりました。その主な要因は第64回定時株主総会決議による配当金2億91百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.1ポイント増加し、60.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

建設需要が低調であることに加えて、東日本大震災の復興需要が依然として不透明な状況であることなどから、平成24年5月15日発表の平成25年3月期の連結業績予想は変更しておりません。なお、今後の情報収集等により見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

(注)本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ0百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,680	4,034
受取手形及び売掛金	11,472	11,309
商品	143	163
建設資材	13,261	13,472
仕掛品	24	41
貯蔵品	60	51
その他	450	449
貸倒引当金	△243	△190
流動資産合計	29,849	29,333
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,209	4,209
その他(純額)	1,634	1,609
有形固定資産合計	5,844	5,818
無形固定資産		
投資その他の資産	25	64
その他(純額)	3,304	3,262
貸倒引当金	△92	△92
投資その他の資産合計	3,211	3,169
固定資産合計	9,081	9,053
資産合計	38,930	38,386
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,393	8,372
短期借入金	5,180	5,180
未払法人税等	356	18
引当金	365	179
その他	817	1,126
流動負債合計	15,112	14,876
固定負債		
引当金	177	155
その他	258	257
固定負債合計	435	413
負債合計	15,548	15,289

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,626	3,626
資本剰余金	5,205	5,205
利益剰余金	15,338	15,092
自己株式	△797	△797
株主資本合計	23,372	23,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	△29
その他の包括利益累計額合計	9	△29
純資産合計	23,381	23,096
負債純資産合計	38,930	38,386

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	5,855	6,249
売上原価	4,626	5,179
売上総利益	1,228	1,069
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	431	430
賞与引当金繰入額	62	98
退職給付費用	57	40
その他	455	480
販売費及び一般管理費合計	1,007	1,050
営業利益	221	19
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	1	1
貸倒引当金戻入額	33	53
受取地代家賃	30	45
その他	30	7
営業外収益合計	96	110
営業外費用		
支払利息	10	10
固定資産処分損	—	14
不動産賃貸費用	2	8
その他	8	4
営業外費用合計	21	38
経常利益	296	91
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
災害による損失	18	—
特別損失合計	18	—
税金等調整前四半期純利益	278	92
法人税、住民税及び事業税	18	10
法人税等還付税額	△34	—
法人税等調整額	124	36
法人税等合計	107	46
少数株主損益調整前四半期純利益	170	45
四半期純利益	170	45

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	170	45
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	△38
その他の包括利益合計	△17	△38
四半期包括利益	152	6
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	152	6

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。